

114
A 2880



朝鮮國政府ハ左ノ事ヲ宣令シ且約定ス

第一朝鮮王國京城ヨリ濟物浦ニ至ル鐵道

ヲ敷設シ使用シ及保管スルコト并ニ漢江

ニ架橋スルノ權利ヲ下ニ記スル所ノ條款ニ

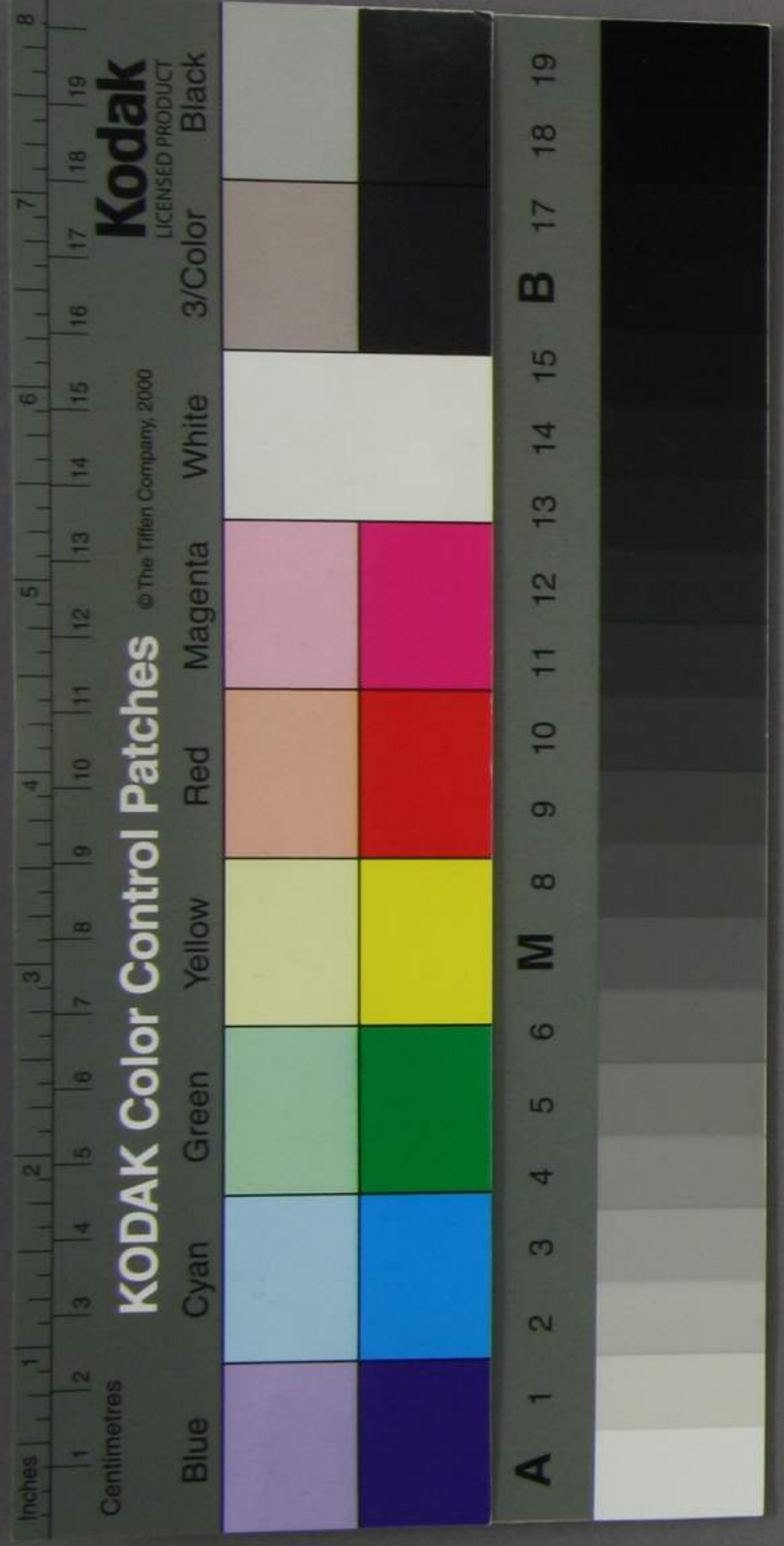
從ヒ未國人「ヤーマス、アーハ、モース」及其代理

人ニ許與ス

第二該鐵道ノ線路及該橋架設ノ場所ハ

「モース」若ハ其代理人選定セハ技師ノ

大正十一年四月
大隈侯爵郵寄贈



測量設計ニ從テ決定スヘシ

該橋側ノ一方若ハ雙方ニ歩行者ノ便ニ供スル
為メ歩道ヲ設クヘシ

又該橋ニハ船舶通航ノ為メ開闢擇ヲ設クヘカ

或ハ通^{河上}常ノ航行ヲ妨ケサハ丈ノ高サニ之ヲ架設

スヘシ

第三、朝鮮政府ハ該鐵道ノ敷設及使用ノ

為メ相當ノ幅員ヲ以テ該鐵道ノ全線路ニ要ス

ル土地ノ通路使用權及停車場、倉庫、工場、

副線

(漢津
等ニ要スル替)

敷地ニ要スル土地ヲ具備スヘシ

而シテ該會社(ゼーエスアーハモース及其代理人

ニ於テ右通路ヲ所有スル間、且朝鮮政府於

テ下ニ記スル所ニ從ヒ該鐵道及其財產ヲ

購買ニ因テ取得スル迄ハ右通路使用權ヲ該

會社ハ貸渡スヘシ

通路使用權貸渡免許ニ對シ該鐵道會社

ハ朝鮮ノ郵便物及郵便人夫并ニ朝鮮
政府ノ兵隊及軍器ハ無償ニテ運搬スルコトヲ
約定ス

朝鮮政府カ購買ニ因テ該鉄道ヲ取得スル
トキハ茲ニ該會社ハ貸渡シ置キタル土地ハ
悉皆朝鮮政府へ還納セシムモノトス

該鐵道ノ線路測量ノトキニ當リ若シ墓地
若ハ墳墓アルトキハ之ヲ毀損セサハ様充分ニ注意ス

ヘシ

又單純ナル小徑ヲ除ク外總テ踏切ニ必要之
通路ヲ設置シ車輛ノ通行スル所ニ線路ヲ平
等ナラシメ且線路ニシテ車輛ノ通行スル大道ヲ
横断シ其上面ヲ通行スルニハ高キニ過ル場所
ハ隧道ヲ設クヘシ

第四該鐵道ハ京城、濟物浦及漢江ニ各一箇
處及漢江濟物浦間ニ少ナクモ三箇處ノ停

車場ヲ設クヘシ而シテ江畔ノ停車場ハ馬浦
若ハ龍山ニ設置スヘシ

第五該鉄道ノ敷設装具及運轉ニ要スル
物件ニシテ外國ヨリ輸入スルノ必要アルモノハ
関税ヲ免除シ且該鉄道及其財産又ハ其
收益ニハ何等税金ヲ賦課セサルヘシ

第六該鉄道ニ外國人及内地人ヲ使用スル
ハ該會社支配人ノ隨意タルヘシ但シ可成的内

地人ヲ使用スヘシ殊ニ土工事業ニハ一割以上ノ
外國人ヲ使用スヘカラス尤内地労働者ノ賃銀
ニシテ外國労働者ノ輸入ヲシテ利益ナラシムル
程高價ナル場合ニ差懸リタル事業ノ為メ
他國ノ労働者ヲ輸入スルニ得ヘシ但シ右
外國労働者ハ該事業終了ノ上ハ初メ来リシ
所ノ國ヘ又テ送還スヘキモノトス依テ之カ為メ右
輸入労働者ハ其来着ノトキ一々税関ニ於テ

帳簿ニ記載シ置キ事業終了ノ上ハ一人
タリトモ滞在ヲ許サレハシ

第七前記ノ營業ニ従事スル為メ右ツビニス、ア
ル、モース及其代理人ニ會社ヲ組織シ必要ナ
ル資本金ヲ募集スルコトヲ許可ス而シテ該
會社ハ該鐵道ノ敷設、所有、保管及運轉
ノ為メ必要ナル總テノ財産ヲ所有シ取得シ移轉
シ并ニ契約ヲ結ビ該鐵道ヲ使用シ且一般ノ

鐵道會社カ通常執行享有スル總テノ權力
ヲ所有スルコトヲ得

第八該會社ノ元資金ハ右ツビニス、ア
ル、モース及其代理人ニ於テ之ヲ決定シ該事業ヲ適當ニ
實行スル為メニ必要ナル資本金ヲ作レハシ
朝鮮政府ニ於テハ前記ノ通路使用權ニ
關スル事項ノ外ニ責任ナキモノトス

第九該會社ノ組織及事業ノ開始ハ相當ノ

理由ナクシテ之ヲ延期ス（カラス但シ如何ニ場
合ニ於テモ本令ノ日附ヨリ十二箇月以内ニ之
ヲ為スヘシ

若右期限内ニ開始セサルキハ本免許ハ無効ト
ルヘシ但シ交戦其他會社ノ力及ハサル事柄ノ
為メ右期限間ニ事業ヲ開始スル下能ハサル
トキハ延期ヲ許可スヘシ

又該鉄道敷設事業ハ其開始ヨリ三箇年

間ニ成就スヘシ但シ交戦其他ノ為メ妨ケラレシ
場合ニハ其中止シタル日數ニ均シキ期限ノ延
期ヲ許可スヘシ

第十、原因ノ何タルヲ問ハズ若該鉄道會社ト朝
鮮政府トノ間ニ葛藤ヲ生シタル場合ニ左ノ方
法ニ依リ任命サレタル二人乃至五人ノ公平ナル
委員ノ裁断ヲ以テ之ヲ決定スヘシ即チ一人ノ
委員ハ朝鮮政府ヨリ之ヲ命ジ該會社ヨリモ亦

一人ヲ命スヘシ而シテ若右兩名合意シ能弁人
トキハ右兩名ニ於テ今一人ヲ任命シ其裁断ヲ
以テ決定スレ但シ同人ニ於テ今兩名ノ助力ヲ
得ヘコトヲ欲スヘトキハ朝鮮政府及該鐵道
會社ハ前記三名ト協議スヘ為メ更ニ各一名
ノ委員ヲ任命スヘシ

第十一、該鐵道落成ヨリ十五ヶ年ノ終ニ於テ朝
鮮政府ハ該鐵道及^{財産ノ}其全部ヲ其當時ノ評

價ヲ以テ買收スルコトヲ得右價ハ第十條ノ
規定ニ從ヒ任命シタル委員ニ依テ決定セラレシ
若朝鮮政府ニ於テ右規定ノ十五箇年経過
ノトキニ當リ 該鐵道ヲ買收シ能ハサル場合ニハ
更ニ十ヶ年間該會社ニ本免許ヲ與フヘキ
モノトス

右十箇年経過ノ後及其後毎十箇年
ノ終ニ當テ之ヲ買收スルハ朝鮮政府ノ隨意

夕ハシ

第十二朝鮮政府ハ本免許ノ期限間若ハ本
書ニ記載スル該鐵道會社ニ於テ該鐵
道ヲ所有シ居ル間ハ京城濟物浦ノ兩点ヲ
連絡スル同様ノ鐵道ニ免許ヲ與ヘサルトヲ
約定ス

但シ本條ハ朝鮮王國ノ他ノ地方ヲ連絡スル
他ノ鐵道ニ關係ナキモノトス

第十三本宣令或ハ免許ノ英訳本文及其
條件ハ公認セラル本書ト認ムル但シ之ニ
漢譯文ヲ添附スル

朝鮮京城ニ於テ

一千八百九十六年三月二十九日

外務大臣 李完用印

農商工部大臣 趙秉稷印

外務省

